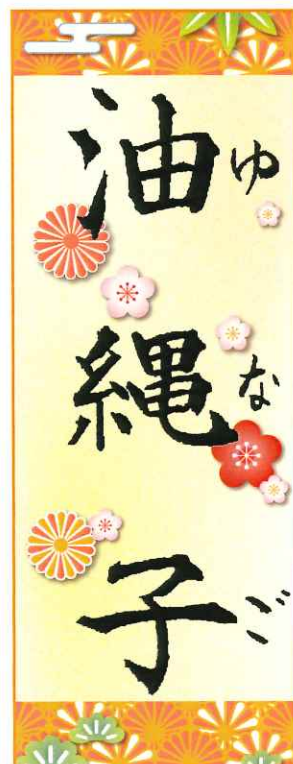


東雲に映える初日の出(ニツ岩)



令和4年1月1日
第119号

発行 油縄子学区コミュニティ
推進会調査広報部
会長 白 玉 敏 夫
事務局 油縄子交流センター
TEL (38) 7 5 3 1
<http://www.net1.jway.ne.jp/c-yunago/index.html>

新年のご挨拶

会長 白 玉 敏 夫

新年あけましておめでとうございませう。油縄子学区内にお住まいになられる皆様におかれましては、令和四年の新年、お幸せな年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスがはやり、計画した行事を実施することができませんでした。その中で、総務企画部の再発見ウォーク、環境美化部の違反広告物撤去及び防災部の防災訓練も実施できたのが何よりでした。日立市社会福祉協議会関係の、油縄子茶話会、国分茶話会、はつらつクラブ及びおもちゃライブラリーは回数が減りましたが、実施できましたことも何よりでした。レク部・青少年育成部が計画した行事が実施できなかったことは残念でした。

コロナ禍の中、実施された東京オリンピック・パラリンピック

クで、出場選手の活躍により多数のメダルを獲得し大いに盛り上がりました。更に野球において大谷翔平選手がアメリカ野球においてMVPを獲得したこともよかったですと思います。また明秀学園が関東大会で優勝し、春の選抜高校野球大会に出場することを確実にしたことも嬉しく思います。

今年、去年の終わりごろからコロナ禍が収まりつつあり、昨年できなかった行事を計画して実施できることを望んでおります。

今年にはトラ年です。冬季オリンピックが北京で行われます。トラにあやかり、出場選手の躍進を望むとともに、春の選抜高校野球大会での明秀学園の活躍にも期待したいと思います。

小学校・中学校生においても、去年以上の活躍を期待します。

当学区の行事に関しまして、例年以上に、皆様に楽しく参加して頂けるような内容を計画していきたいと思っております。何をされるにも皆様方のご協力が無ければ成功はできませんので、ご協力宜しくお願い致します。

新しい年を迎え、皆様ご家族の健康とご多幸を祈念しまして、新年のあいさつとさせていただきます。

油縄子コミュニティ推進会・行事予定(1月~3月)

ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日
はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日	シルバーリハビリ体操	毎月第2木曜日
おもちゃライブラリー	毎週火曜日(月3回)	交流センター休館日	12月29日(水)~1月3日(月)
油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日		

ふるさと再発見

わが町の再発見を

照井 修

今年もコロナ禍ですが、少人数ながら十月二十四日無事に「ふるさと再発見ウォーク」を行うことができました。

この行事は、歩いて地域に残る史跡や歴史を学ぶものです。歩くことで、今まで気付かなかった事柄を見つける貴重な時間です。

また、今年も市役所の新人職員に参加があり、市民課鈴木裕貴さんより左記感想文を頂きました。

「油繩子再発見ウォークに参加して」

『今回初めて油繩子魅力再発見ウォークに参加させていただきました。自分が住んでいる学区を歩きながら、解説していただいたので大変勉強になりました。』

当日は交流センターから出発して要害城跡、女性センター、相馬の碑、八幡神社、普濟寺跡の順に巡回しました。どの場所も普段何気なく通っていましたが、それぞれの

場所には深い歴史があるのだと感じました。特に女性センターに置かれていたツインディスク・オルゴールは印象的でした。このオルゴールは建物が建て替えられた際の記念品で、二枚の円盤が同時に回って音を奏でる、とても珍しいものだを教えていただきました。実際に女性センターの職員さんが動かしてくださり、素敵な音色を聴くことができました。再発見ウォークに参加したことで油繩子の魅力を新たに発見することができ、自分でも油繩子の歴史等について調べてみたいと思いました。また再発見ウォークが開催される際には是非参加させていただきたいと思えます。』

最後に、交流センター東側門に新しい散策マップを掲示しましたのでご参考下さい。今年も開催しますのでもよろしく願います。



油繩子学区散策マップ



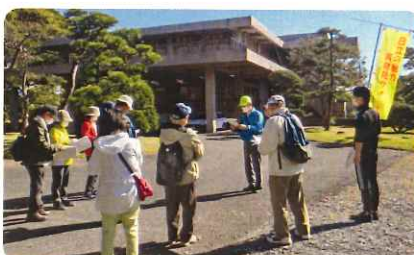
交流センター出発



相馬の碑



女性センター



要害城跡(要害クラブ)

防災訓練を実施

伊藤 茂

十一月七日(日)二年振りに防災訓練を実施しました。

今回はコロナ禍を考慮して訓練内容の規模を縮小し防災部を中心に参加者を限定して、交流センターでの訓練となりました。最初に(市)水道課の御指導のもと、給水タンクの組立て運用方法を手順書に従って作業し

正確に完成する事が出来ました。非常用飲料水袋の使用方法については、注水の仕方、背中へ背負う時に使用する紐の作り方を習得しました。発電機の操作訓練ではガスボンベと発電機とのホース接続手順及び始動方法の確認を行ない、初めて投光器を点灯しました。

最後に民生委員の方が、避難行動支援者の安否を電話連絡で確認し、適確な避難誘導が出来るような訓練を実施しました。

今回は防災部主体の防災訓練でしたが、改めて全員が災害の起こらない事を願いながら訓練を終了しました。



発電機始動



非常用飲料水袋



給水タンク設置

学校だより



かしわ祭合唱コンクール

本校吹奏楽部は、東関東吹奏楽コンクールに七年連続出場を成し遂げました。生徒たちの日々の練習の蓄積、自主練習を怠らない努力、そして交流センターをはじめ、地域の方々からのご支援が実を結びました。大変お世話になりました。

〈東関東大会、七年連続出場〉

今年度は、総体及び新人大会が無事に開催されました。本校では、大会で優勝又は準優勝した団体及び個人を讃え、横断幕を掲げることで地域の皆さんにも広報してきました。特に、十一月の新人大会で準優勝した軟式野球部は、少ない部員が互いに切磋琢磨して大会に臨み、成果を収めました。おそらく決勝戦まで進んだのは、十数年ぶりの快挙かと思われます。よりチーム力を高め、次は市内優勝、県北制覇を目標に突き進んでほしいものです。

〈運動部の活躍〉

十月開始の第二学期から合唱コンクールの練習が始まりました。一ヶ月にも満たない練習期間で例年のようなレベルに仕上がるのか、という心配を払拭し、かしわ祭当日の各クラスの合唱は、伝統ある多賀中の合唱を継承する素晴らしい出来映えでした。教師と生徒が一丸となし、さらに生徒自身が共に支え合って取り組んだ「妥協しない練習」の成果を披露することができたと思います。

〈かしわ祭合唱コンクール〉

本校では、「夢と希望をもって、共に学び共に育つ多賀中生」の育成を目指しています。学力向上はもちろん、仲間とともに協働しながら何かを成し遂げようとする活動においては、特に力を発揮してほしいと願う指導をしています。コロナ禍にあっても常に最大限努力して成果を上げてきた本校生徒の取組の一端を紹介いたします。

生徒の生き生きとした活動を見つめて

多賀中学校長 高橋 秀治

県吹奏楽コンクール集合写真



新人野球部・大活躍



新人野球部・集合写真



ゴミ分別作業

集めたゴミは皆できれいに分別作業を実施して処分しました。
ゴミ皆無は難しいかもしれませんが、習慣付けで無くなるかなとも思います。

先日(十月三十一日)日曜日にもかかわらず、早朝より学区内の違法広告の撤去や歩道上のゴミ拾いを実施しました。違反広告はありませんでしたが、小さい紙くずや空き缶、空きびん類、タバコの吸い殻が、例年通り散見されました。ゴミの総量は例年同様と感ずりました。

違反広告撤去とゴミ拾い

島崎 治

コミセンと共に歩んだ四半世紀

松原 武

生き生きサロンの一環として茶話会を発足、バスで太田の西山荘、西山公園のお花見などを実施した。平成十八年国分町地区にも茶話会を作り、八重桜が満開の静峰公園、五徳沼の白鳥見物などと野外活動も楽しんだ。

わんぱくビレッジは最初二泊三日で、定員オーバーになった場合には二班に分けて実施、宿泊は八幡神社の油縄子会館を借用し、入浴は多賀高校合宿所や日製の有朋寮の浴室など六号国道を横断して引率した。その後は交流センターでのドラム缶風呂となった。

平成十七年三月に日立社会福祉協議会のもとに「おもちゃライブラリー」を開始したが、設立前に先行していた河原子学区を見学し、玩具の購入には当時の嶋崎会長等と水戸まで行き、プランコや滑り台は宅配とした。当時乳幼児は少なく、室内を走り回り動きも活発だった。更に同年五月、高齢者の健康

づくりの計画に当たり、ネーミングの候補に「澁刺クラブ」が挙がったが固すぎるので「はつらつクラブ」とした。以後社協の指導のもと趣向を変えながら親睦を深めている。

また八月からやや若年層の女性の健康づくりに「ステップクラブ」を発足、意気軒昂に動んでいる。一方私も編集委員として参画していた広報紙は、以前「ゆなご」とは別に刊行していた「ふくし油縄子」を平成十五年に前者と合併し「油縄子」として年四回の発行とした。これも二十八年九月に第百号を迎えた。

振り返ると、運動会、盆踊り、夏のつどい、三世代ふれあい秋祭り、防災訓練、ふるさと再発見ウォークなど思い出は尽きない。退職後、第二の人生とも言える交流センターでの関係者方とのふれあいは、私の貴重な財産となっている。七年前、春に家内を、暮れに息子を相次いで亡くし、当時は神も

仏もないと嘆き、茫然自失の状態だったが、交流センターでのボランティア活動など多くの方々との交わりで立ち直る事ができた。

一昨年初めからの新型コロナ禍で三密、マスク、うがい、手洗いなどと身辺も様変わりし社協等の指示で色々な行事も一時中断などもあったが、一日も早い収束を願うのみである。

顧みると、コミセンと共に歩んだ二十五年、既に亡くなられた諸先輩も含め、多くの方々との融和の中で過ごさせて頂き感謝の他はない。

私も昨年八月に馬齢を重ねて卒寿を迎えたが、過去少しでも見聞を広めようと家内と共に、十一回の海外旅行もしてきた。幸い健康にも恵まれ今でも夏季を除き隔日ながら七千歩程度のウォーキングを励行している。

尚、昨年三月を以て推進会の理事を返上し、ボランティアでもスタッフは辞め、国分茶話会等のメンバーとして参加する事とした。最後に永年にわたり、公私ともにご交誼頂いた関係者の皆様、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

編集後記

新型コロナウイルス感染が世界中に拡散し始めてから約二年になりましたが、マスクが本場に日常となりました。やっと日本は収束かと思つたらまたコロナの異種オミクロン株が世界各地で見つかる始末です。ウィズコロナも長くなりそうですね。

おかげで自宅に籠る時間が増え、運動不足解消のための散歩で交通事故が目立っているようです。特に夜間では目立つ服装や反射材着用を心掛けましょう。

巧妙な電話詐欺もあり、受けても一旦電話を切つて親族や友人等と相談しましょう。

今年コミユニティ活動が増え本広報紙にも記載記事が満載されるようにと祈っております。また去年より始めた「かわらばん」も含め皆様に有用な情報をお伝えしたいと思っております。宜しくお願い致します。

(幡 敏見)

